

平成23年9月16日
日和産業株式会社

平成23年10～12月期の畜産用配合飼料価格について

平成23年度第3四半期（平成23年10～12月期）の畜産用配合飼料価格につきまして、以下の飼料原料及び為替情勢に基づき、平成23年7～9月期に対して当社の全畜種平均トン当たり約800円の値下げを実施致します。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別により異なります。

【現在の情勢】

① 飼料穀物

米国産とうもろこしは、堅調なエタノール需要や飼料用需要に支えられ、歴史的に低い在庫水準が見込まれております。更に、受粉期の高温・乾燥被害による減産が懸念され、需給は更に逼迫すると予想されております。

現在は¢700／ブッシェル前後で推移しております。

② 副原料

米国産大豆粕相場は、夏場の降雨不足により大豆の作柄が悪化し、一時高値で推移しておりました。しかし中国の大豆輸入量減速と南米産大豆が豊作であることから現在は軟調に推移しております。

③ 海上運賃

米国ガルフ～日本間の海上運賃は船腹需給が緩いことから、前四半期同様に軟調に推移しております。しかし、8月中旬以降は燃料費の高止まりや中国の石炭需要が傭船料を引き上げ、下値は限定的となっております。

④ 外国為替

米国債格下げ懸念や米国経済指数の悪化から円高が進んでおりましたが、日本政府の円売り介入により、一時80円／ドルまで反落しました。その後、欧州債務危機や世界的な株価急落により急速に円高が進み、現在は76円／ドル後半で推移しております。

以上

*お問合せ先 日和産業株式会社 原料部

TEL 078-811-1221